

平成29年度行政事業レビューシート ( 厚生労働省 )

事業名	難病情報センター事業費補助金			担当部局庁	健康局			作成責任者			
事業開始年度	平成8年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	難病対策課			課長：川野 宇宏			
会計区分	一般会計										
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する計画、 通知等	難病情報センターの国庫補助について						
主要政策・施策	-			主要経費	社会保障						
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)	難病患者や家族の療養上の悩みや不安に的確に対応するため、難病に関する普及啓発等を行うことにより、その療養生活の一層の支援を図る。										
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	以下の事業を行う難病情報センター((公財)難病医学研究財団)に対して補助する。 難治性疾患政策研究事業等の成果、専門医・専門医療機関の所在や公的サービス、最新の認定基準、治療指針及び症例等の情報を収集、整理し、難病患者、家族及び医療関係者等に対して情報の提供を行う。(補助率:定額)										
実施方法	補助										
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求				
	予算 の 状 況	当初予算	42	28	28	28	43				
		補正予算	-	-	-	-	-				
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-				
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-				
		予備費等	-	-	-	-	-				
	計		42	28	28	28	43				
	執行額		36	28	28	-					
	執行率(%)		86%	100%	100%	-					
当初予算+補正予算に対す る執行額の割合(%)		86%	100%	100%	-						
平成29・30年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目		29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由						
	難病等情報提供事業費補 助金		28	43	会議回数等の増						
	計		28	43							
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標		成果指標			単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 毎 年度
	前年度の難病情報セン ターホームページアクセス 数		難病情報センターホーム ページのアクセス数		成果実績	件	28,706,035	28,502,624	26,225,312	-	-
					目標値	件	22,192,412	28,706,035	28,502,624	-	前年度以上
					達成度	%	129	99	92	-	-
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)		難病情報センター事業費実績報告書									
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標					単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込
	難病情報センターの相談件数				活動実績	件	371	524	576	-	
					当初見込み	件	479	371	524	576	
単位当たり コスト	算出根拠					単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込	
	単位当たりコスト = X / Y X:「執行額」 Y:「難病情報センターホームページのアクセス数」				単位当たり コスト	円/件	1.3	1	1.1	1.1	
				計算式	X/Y	36,082,000 /28,706,035	28,415,000 /28,502,624	28,258,000 /26,225,312	28,255,000/26,225,312		

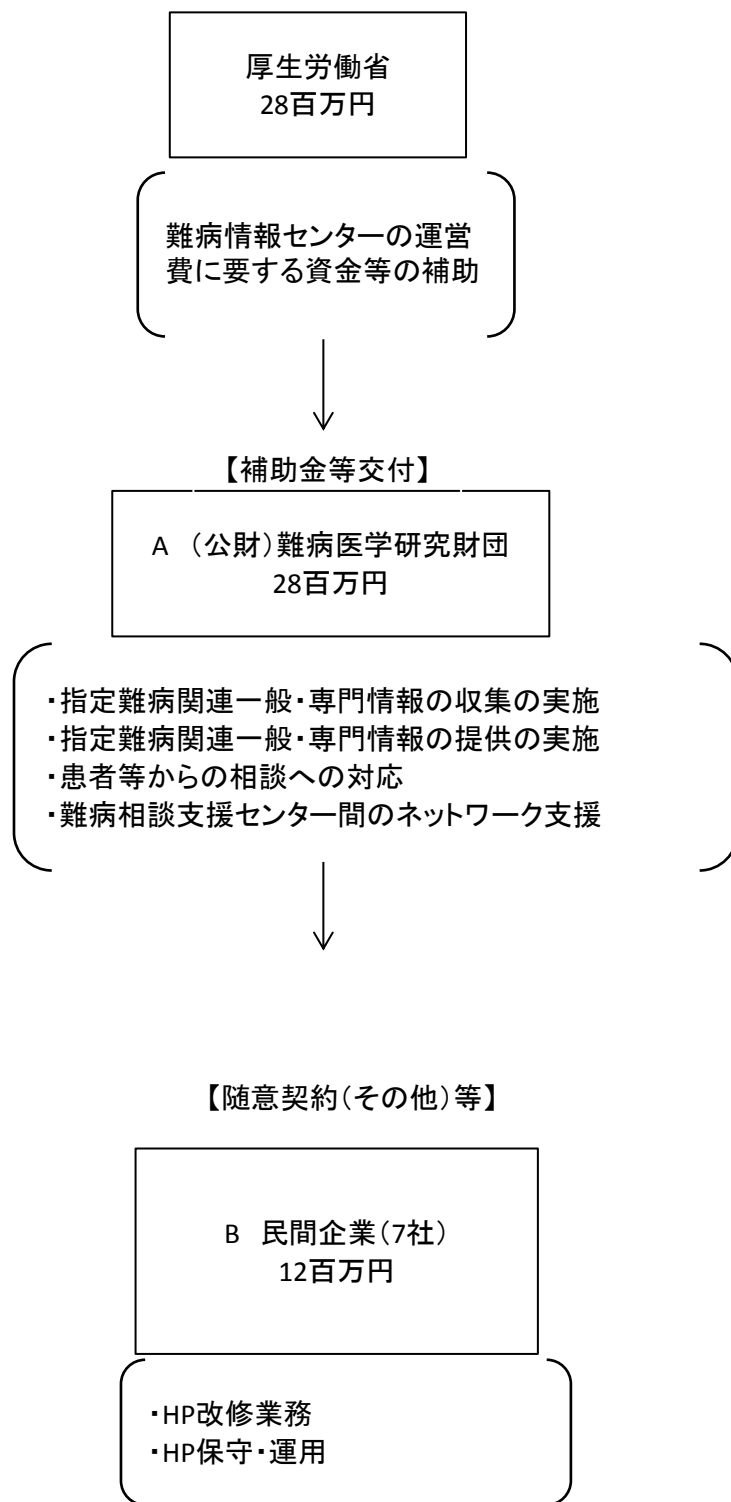
政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	I-5 感染症など健康を脅かす疾病を予防・防止するとともに、感染者等に必要な医療等を確保すること									
	施策	I-5-2 難病等の予防・治療等を充実させること									
	測定指標	定量的指標				単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度
					実績値	-	-	-	-	-	-
					目標値	-	-	-	-	-	-
		定性的指標		目標		目標年度	施策の進捗状況(目標)				
						-					
						-	施策の進捗状況(実績)				
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係										
	難病患者や家族の療養上の悩みや不安に的確に対応するため、難病に関する情報の提供等を行うことにより、その療養生活の一層の支援を図ること で難病対策を推進し、目標達成に寄与する。										
経済・財政再生 アクション・プログラム	改革項目	分野:	-	-							
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)				単位	計画開始時 - 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
					成果実績	-	-	-	-	-	-
					目標値	-	-	-	-	-	-
				達成度	%	-	-	-	-	-	
	(第二階層) KPI	KPI (第二階層)				単位	計画開始時 - 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
					成果実績	-	-	-	-	-	-
					目標値	-	-	-	-	-	-
				達成度	%	-	-	-	-	-	
	本事業の成果と改革項目・KPIとの関係										
-											

事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明				
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	ホームページアクセス数は年間約3千万件となっていることから、広く国民のニーズがあり、難病に関する総合的な情報を発信する事業であることから、国費を投入しなければ事業目的が達成できない。				
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	難病に関する総合的な情報を発信している事業であり、国が実施すべき事業である。				
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	国民の難病に関する普及啓発という政策目的達成に向けて、優先度の高い事業である。				
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-					
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無					
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無					
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-					
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	低コストで情報提供をしている。				
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○	会議費等、必要なものみに支出している。				
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	交付申請書を審査し、補助事業の実施に必要な経費について交付決定している。				
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-						
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-						
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-						
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	毎年度、成果実績は成果目標の0.9~1.3倍で推移しており、見合ったものとなっている。				
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-					
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	前年度の相談件数を見込みとしており、ほぼ見込みに見合った実績となっている。				
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-					
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-				
	所管府省名	事業番号	事業名				
点検・改善結果	点検結果	ホームページアクセス数は年間約3千万件となっていることから広く国民のニーズがあり、直接国民へ難病に関する情報を発信している実行性も高いことから、概ね妥当な事業である。					
	改善の方向性	難病情報センターのホームページには一定のニーズがあることから、適切に予算を執行し、このまま継続して事業を実施する。難病情報センターホームページのアクセス数が減少していることを踏まえ、よりわかりやすい充実したコンテンツにしていく等、事業内容の見直しを検討する。					
外部有識者の所見							
点検対象外							
行政事業レビュー推進チームの所見							
現状通り	難病に関する国民への普及啓発を行うために必要な事業であることから、引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況							
現状通り							
備考							
-							
関連する過去のレビューシートの事業番号							
平成22年度	135	平成23年度	134	平成24年度	107		
平成25年度	124	平成26年度	135	平成27年度	142		
平成28年度	143						

※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ  
 (資金の受け取り先が何を  
 行っているかにつ  
 いて補足する)  
 (単位：百万円)



費目・使途 (「資金の流れ」に においてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と使途 の双方で実情が 分かるように記 載)	A.(公財)難病医学研究財団			B.(株)アジンコート		
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
	賃金	情報処理企画管理員等雇上等	11.5	役務費	システム開発、保守・運用	7.8
	雑役務費	システム開発費等	9.5			
	借料及び損料	事務所賃借料等	2.6			
	印刷製本費	パンフレット等印刷費	1.5			
	謝金	運営委員会等出席委員謝金等	1.3			
	旅費	運営委員会旅費等	1			
	消耗品費	事務消耗品等	0.4			
	通信運搬費	郵送料等	0.3			
	会議費	運営委員会等会議費	0.2			
	計		28.3	計		7.8

